



国土交通省道路局長 殿

錦建第 58 号  
平成 19 年 5 月 2 日

鹿児島県錦江町長  
野元 良



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

平素より道路関係事業の促進について、特段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の件について、別紙のとおり意見提出いたします。

記

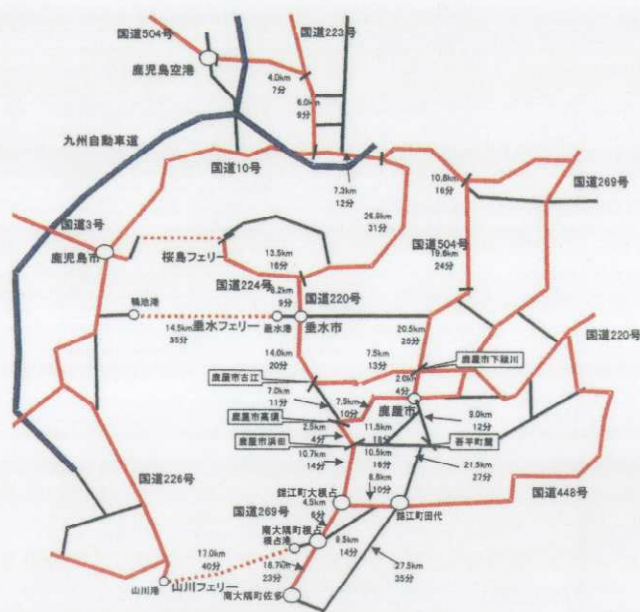
今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見事項別紙にて

## 今後の道路政策や道路の整備・管理について（意見書）

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策。

地域の実状に合わせた政策を（基幹道路の整備）、真に必要な道路とは道路をどう作っていくか、本町から県都鹿児島市までの所要時間は約 90 分を要し、また空港までの所要時間は約 120 分となっている、生活圏の中心都市である鹿屋市までは約 30 分となっており、地域との交流に相当の時間を要している。

各地域とのアクセス改善が不可欠であり、大隅半島の骨格である大隅縦貫道や東九州自動車道の高速交通体系整備が、重点化を進める上で、特に優先度の高い政策であり基幹道路として真に必要な道路連結、道路ネットワークの強化が考えられます。



旅行時間算定道路網

- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

今後の具体的な道路整備の姿とは、また時代に合わせた中期計画であればこそ、既存にあるものを生かしながら、いかに早く目的地への所要時間を短縮できるか、既存のネットワークを活用し、局部改良等により、カーブを直線にショートカット・ショートパス等による財源の効率化を徹底的に進め、短期における整備実施にて交通体系ネットワークの早期完成を計り、地域格差解消のための効率的整備への財源見直しを望みます。

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する。

まずは、足元の整備を優先して頂きたい。台風等による豪雨の際大隅半島においては、交通途絶により緊急輸送道路などの防災に関する道路整備が重要課題である。

国道 269 号は地域における唯一の幹線道路であり、大隅半島の拠点都市である鹿屋市などに、集積されている高度医療施設や緊急医療施設などへの救急輸送道路でもあることから、災害時でも通行規制のない安全で信頼性の高い道路空間の整備が強く望まれている。

このような状況下、国道 269 号は過去また近年にあっても、豪雨時においては、常に土砂崩れによる通行止め等の災害既往歴があり、

このため救急搬送体制や地域住民の生活等にも大きな支障が生じている。災害に強い道づくりの観点から、拠点都市へ連結する国道 269 号の交通機能の向上や、アクセス道路の整備は急務である。

